

軍歴証明書を

取ってみませんか？

杉本 順則 陸自77

父の33回忌を前に軍歴証明書を取り寄せてみた。

大東亜戦争に参加していたはずの父は多くを語らなかった。父の話の中で断片的に覚えているのは、凶襲にいったばい教鞭を入れて行ったが煙草の方が良かったとか、射撃においては敵味方とも兵隊は敵を狙わないで上の方を撃っていたとか、「突撃に前へ」と号令をかけても小隊長の後ろに付いてこなかったとか、弾が凶襲に当たって中の赤インクが流れ出て「やられた」と思ったが、あれが一番近くに飛んできた弾丸だったとかだ。

一番記憶に残っているのは、インドネシアのジャワ島で終戦を迎え戦犯として捕らえられ、死刑判決を受けた。その後、独房で4年間過ごしたが、死刑執行を控え精神に異常を来すものが多かった中、無事何とか過ごしていたらある日解放され帰国した。そして生家へ帰ると既に墓が建っていて、親戚が驚いて「誰でも良いから早く結婚しろ」と亡母と結婚したというものだった。亡父は、保安隊から自衛隊になった

年（昭和29年）の12月に入隊し、昭和46年3等陸佐で定年となるまで勤め上げた。その後2年後私が防衛大学校に入校するのだが、戦争や自衛隊に関する話は、ほとんどしなかった。私が話す自衛隊の話も黙って聞いていただけだった。今になって、もう少し話を聞いておけば良かったと大いに後悔している。

高齢者に仲間入りした私は、縁あって偕行社の編集委員として『偕行』に携わらせていただいているが、最近インドネシアの独立戦争を4年間戦った話を読み、インドネシア・ジャワ島で4年間独房に入っていたという父の話に疑問を持ったのだ。

結論から言うと、父はどっやら泰（タイ）で俘虜になっていたようだ。4年間の独房生活も私の記憶違いか、父が話を盛ったのかもしれない。まさか息子が軍歴証明書を取るなんて夢にも思ってもいなかっただろうから。

軍歴証明書によると、父は、昭和18年8月滋賀県で応召、同年11月大阪港から出帆し、磐谷（バンコック）に上陸。その後、泰（タイ）、馬來（マレー）を転戦、兵科甲種幹部候補生として昭南（シンガポール）を出帆、ジャワ、ジャカルタの南方軍幹部候補隊で見習士官となり、磐谷（バンコック）へ戻って終戦を迎えている。その後、昭和21年2月泰馬來（タイ・マレー）国境を通り、昭和22年1月27日シンガポール港

出帆、2月6日佐世保港上陸、同日現役延期解除除隊、となっている。

肝心の俘虜として、どの収容所で過ごし、戦犯裁判はどうだったのか、とは分かったが、父との思い出に充分触れることのできる内容だった。そして、終戦後も1年半もの間、帰国を許されず、親が戦死と考えて墓に刻銘していたことも事実なのだろう。何せ、父の男兄弟は5人全員戦死であったのだから。戦死の告知があったのかどうかも分らなかったが、よく終戦後までの記録が残っていたものだと思う。終戦後の軍歴のたった3行の記録の中に1年半の父の苦勞を見たような気がした。

軍歴証明書は、海軍は厚生労働省で、陸軍は各都道府県庁社会福祉担当部署で発行してくれる。昭和6年から昭和20年までの軍歴があれば、生年月日、終戦時の本籍地、できれば最終部隊名などを求められるが、一度検討されては如何だろうか。ご参考に、軍歴証明書の取り方を以下に紹介する。

1 軍歴証明書の取り方

軍歴証明書の発行申請をできる人（親等）を基準とした要件があり、主に以下のようなものがある。自治体によって様々で、①本人が存命の場合は本人からの請求しか認めない②本人が存命の場合、3親等までの親族③本人死亡の場合のみ2親等（3

親等）までの親族など、申請する際には事前に都道府県庁社会福祉担当部署へ確認するのが良い。

軍歴証明書とは、都道府県や厚生労働省が発行する旧陸海軍軍人・軍属・従軍文官の召集から除隊までの履歴を記載した公式な記録である。主には満洲事変から終戦までの間に陸海軍に入隊していた旧軍人が対象となるが、戦況が悪化した終戦間際に入隊した人の記録は残されていないケースが多い。

2 軍歴証明書に書かれていること

軍歴証明書には「氏名・官職・叙位・叙勲・召集時期・出航した港・配属・任官・進級・従軍記録・賞罰・傷病と治療・召集解除時期」など、軍隊に所属していたときの詳細な内容が書かれている。

3 軍歴証明書と兵籍簿の違い

旧陸海軍で記録したそのものが兵籍簿。兵籍簿を元に履歴書のようにまとめられているものが軍歴証明書。兵籍簿は当時のまま手書きで大変詳細な情報が記載されており、管理している自治体によっては、まとめられた軍歴証明書がなくて、兵籍簿をそのまま軍歴証明書として交付される場合も多くある。なお、すつきりとまとめられた軍歴証明書が用意されている自治体の場合は、兵籍簿を交付してもらうことはできない。蛇足ながら、手書きの兵籍簿は読み解くのが大変である。